



甲南学園100周年 甲南新世纪へ

大正8年、甲南中学校が創設された。その後、旧制甲南高等學校が創設、現在の甲南大学へと変遷を遂げていく。創立者・平生釣三郎は、父から受け継いだ武士道精神と英國で培った紳士の精神を胸に、世界と未来を見つめ、身を粉にして社会に尽くした。その精神は100年をへた現在、甲南学園にしっかりと受け継がれている。



今なお神戸に息づく 平生鉄三郎の事績

グローバルな視野を持ち、マルチな分野で活躍した平生鉄三郎先生。神戸のまちに息づいている平生先生の精神を、次の世代へといかに引き継いでいくか。事績を辿りながら、久元喜造市長と長坂悦敬学長に語り合っていただいた。

大正・昭和のダイナースムに よつて登用された逸材

久元 甲南学園が創立100周年を迎えることをお慶び申し上げます。優れた人材を輩出してこられ、数え切れないほどの卒業生の皆さんが日本

全国、また世界で活躍されています。同時に、戦前から現在に至るまでずっと長く神戸に根を張り、神戸経済を支え発展に貢献いたいたことに改めて感謝の意を表します。

長坂 ありがとうございます。

甲南学園は100年前、平生鉄三郎先生によって創立されました。平生先生は武家に生まれ、維新を経て大変なご苦労をされました。しかし、「学びたい」という強い思いを持っておられました。奨学金を得て東京外国语学校に入りましたが、国の施策により閉校になり養子縁組をして学費を得られます。

25歳で高等商業学校を卒業し附属学校で教鞭に就きます。役人の時期を経て、27歳で兵庫県立神戸商業学校の校長に

今に引き継がれる グローバルな視野を持つ教育

長坂 平生先生は2人の奥様を病で亡くされ、3人目の奥様と共に大阪から住吉村に居を移されました。これが神戸との深い縁の始まりです。当時の実業界には小学校を作ろうという動きがあり、有志の方々と共に直接参画されることになります。並大抵のご苦労ではなく、まず莫大な資金が必要です。平生先生は単に教育熱心をしたということです。平生先生はその典型だと思いますね。

重要なポストに自分から就くことはできませんから、若手でも、その才能を見抜き、抜擢した方がいるわけです。教育界、実業界、官界、政界など幅広い分野で若い頃から活躍できるチャンスと経験に恵まれ、その能力を發揮できるこのダイナースムを今日本の社会は失いかけています。36年間、公務の世界だけで生きてきた私などは、アカデミックなこと、民間のことが分からず恥ずかしい思いをしています(笑)。

久元 平生先生は、教師から校長に、そして実業界の経験をされ、さらに文部大臣としても活躍され、当時の川崎造船の社長にも就任されました。幅広い分野を経験され、今で言う「グローバルな視野」を持つおられました。それが今の甲南大学の

就き立て直しを図ります。その後、東京海上保険に入り実業界に身を置くことになります。

これらは全て高等商業学校長の推薦によるもので、「この若者は将来日本の役に立つ」と見抜いておられたのでしょうか。

久元 20代で校長に就任され、30代では実業界でぱりぱり活躍されたのですね。この時代の日本にはいろいろ問題がありました。一つ言えるのは官民ともにダイナミックな人材登用をしたということです。平生先生はその典型だと思いますね。

とはできませんから、若手でも、その才能を見抜き、抜擢した方がいるわけです。教育界、実業界、官界、政界など幅広い分野で若い頃から活躍できるチャンスと経験に恵まれ、その能力を發揮できるこのダイナースムを今日本の社会は失いかけています。36年間、公務の世界だけで生きてきた私などは、アカデミックなこと、民間のことが分からず恥ずかしい思いをしています(笑)。



甲南大学長

長坂 悅敬（ながさか よしゆき）

1983年、大阪大学大学院工学研究科修了後、コマツ生産技術研究所に勤務。1987年～1989年、University of British Columbia客員研究员。1992年、博士＜工学＞（大阪大学）。1994年、大阪産業大学経営学部。2001年、甲南大学経営学部を経て、現在同教授。2014年8月より学長に就任。2017年より、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸理事長を務める。

久元 神戸のまちと同じく、大学も規模の拡大だけを追う時代ではありません。あらゆる面でクオリティーが問われます。レベルの高い教育でグローバル社会でも注目される存在であつてほしいと思います。甲南大学から東立ついく若者たちには神戸に根付いていたくのはもちろん嬉しいのですが、世界に目を向け、広い視野を持つて活躍してもらいたいと思います。

長坂 ローカルな行動をもとに、グローバルな視野を広げる

がいろいろな恩恵を受けているのが、今の神戸だと思います。

久元 神戸のまちと同じく、大学も規模の拡大だけを追う時代ではありません。あらゆる面でクオリティーが問われます。レベルの高い教育でグローバル社会でも注目される存在であつてほしいと思います。甲南大学から東立ついく若者たちには神戸に根付いていたくのはもちろん嬉しいのですが、世界に目を向け、広い視野を持つて活躍してもらいたいと思います。

教育のバックボーンとなつていませんね。国際都市神戸の有り様にも通じるものがあるでしょう。偏った視野に閉じこもることなく、広い視野で物事をとらえ、考へて行動する。時代環境は全く違つても、今社会に求められる教育と通じるものがあります。

長坂 平生先生の名言も時代を超えて生きています。「正志く、強く、朗らかに」。この三つを同時に続けられたら豊かな人生を送れると思うのですが、「朗らかに」が難しい。そして「ワーン フォーオール オールフォーワン」。川崎造船の立て直しに際してもこのラグビー精神で臨んでおられたようですね。

久元 当時の川崎造船は日本を代表する巨大なものづくり企業でしたから、もし破綻すると神戸経済が壊滅的な打撃を受けるのみならず、日本経済が非常に大きな影響を受けると分かっておられ、使命感を持つて、社員の健康にも大変気を使いながら仕事をされたとお聞きしています。

また、大正から昭和の初めにかけておられたのだと思います。同時に従業員を大事にされ、社員の健康にも大変気を使いながら仕事をされたとお聞きしています。

久元 平生先生の名言も時代を超えて生きています。「正志く、強く、朗らかに」。この三つを同時に続けられたら豊かな人生を送れると思うのですが、「朗らかに」が難しい。そして「ワーン フォーオール オールフォーワン」。川崎造船の立て直しに際してもこのラグビー精神で臨んでおられたようですね。

久元 当時の川崎造船は日本を代表する巨大なものづくり企業でしたから、もし破綻すると神戸経済が壊滅的な打撃を受けるのみならず、日本経済が非常に大きな影響を受けると分かっておられ、使命感を持つて、社員の健康にも大変気を使いながら仕事をされたとお聞きしています。

また、大正から昭和の初めにかけておられたのだと思います。

久元 その時代の社会が求めるもの、神戸が求めるものを追求されていました。平生先生の事績がしっかりと引き継がれ、市民

久元 正にそうです。戦争回避という思いを持っておられましたね。ベースには「みんなでやつてこう」という相互扶助の考えがあつたのだと思います。

長坂 正にそうです。戦争回避という思いを持つておられましたね。ベースには「みんなでやつてこう」という相互扶助の考えがあつたのだと思います。

久元 その時代の社会が求めるもの、神戸が求めるものを追求されていました。平生先生の事績がしっかりと引き継がれ、市民

かけて困難な時代、当時の陸軍が画策した軍部大臣現役武官制に反対され、また二・二六事件の陰の首謀者といわれた陸軍大将を難詰する手紙を書いておられます。日本が危機的状況に入つていく中、正しい方向を追い求め信念を貫かれたのではないでしょうか。



神戸市長

久元 喜造（ひさもと きぞう）

1954年、神戸市兵庫区生まれ。1976年、東京大学法学部卒業し、旧自治省入省。勧業省財政局長、畿内省自治行政局行政課長、同省大臣官房審議官（地方行政・地方公務員制度、選挙担当）、同省自治行政局選舉部長などを歴任。2008年、同省自治行政局長。2012年、神戸市副市長。2013年11月に第16代神戸市長に就任。



TEDxKOBEの会場となったiCommons



甲南学園創立当初の正門

長坂 若者に選ばれるまちを目指す神戸市とは包括連携協定を結び、神戸にある大学として具体的にメッセージを発信し

久元 「民主主義とは何か?」難しいテーマですが、非常に率直に開かれた議論ができます。

長坂 久元市長にも素晴らしい講義をしていただきました。

だけではなくいろいろな地域・分野の方が来られてアイデアを出され、お互いに刺激しあう場となっているようです。



学園創立100周年を記念して開設された「KONAN INFINITY COMMONS」(通称iCommons)



4月21日に学園創立100周年を迎える
甲南大学



「民主主義とは何か?」をテーマに講義を行う久元市長



学生食堂「Hirao Dining Hall」(iCommons)



平成28年、神戸市と包括連携協定を締結した

長坂 非日常の学びとしての地域プロジェクトに全学生が一回は参加するという教育プログラムを作成中です。大学都市神戸を発信するプロジェクトにも参加させていただいていますし、スイーツめぐりや豚飼育サミットへの参画、チャイルドフェスティバルやボランティア活動などにも積極的に取り組んでいます。

地域とつながり、世代間でつながり、神戸とつながり、世界とともにつながる。甲南大学が結節点となつてパワーを發揮し、神戸の地で神戸と共に発展していくないと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

久元 心強いですね。「こちらこそよろしくお願いします。」

久元 選ばれるまちの条件は日常性と非日常性です。大学にはカリキュラムのような日常性とわくわくする非日常性の要素があり、甲南大学には間違いなくレベルの高い教育と楽しいことがたくさんあります。

ていうしています。

我々もまた、
知らず知らずのうちに
平生鉢三郎の恩恵
にあづかっている

実業界、教育界、政界、そして社会奉仕。
平生鉢三郎は生涯にわたり、多方面で実績を残した。神戸・阪神間、そして日本の国に暮らす今の人たちは大きな恩恵にあづかっている。その足跡を辿ってみた。



学校法人甲南学園所蔵資料

母校附属主計学校で初めて教 べんをとる

1890年、苦学の末に高等商業学校（現・一橋大学）を卒業した平生鉢三郎は、海外への夢を胸に秘めながらも生活のため、附属の主計学校で英語と経済学を教える助教論となつた。この時から既に、平生と教育との関りが始まっていた。

朝鮮仁川で仕事の傍ら私塾を開く

翌1891年、平生の夢は叶う。母校の矢野次郎校長から地で英語力を磨き、仕事の傍ら夜間は私塾を開いて英語を教えるまでに至る。この英語塾が後に発展し、現在の仁川南高等学校になっている。

県立神戸商業学校の校長に就く

1893年、またも平生は矢野校長の推薦を得て帰国し、27



明治40年〔1907〕、東京海上時代の平生。後に社長となるが、50歳で財界を去り、教育の道に進む
学校法人甲南学園所蔵資料

東京海上保険で数々の業績を残す

平生の業績を実業界が放つてはおかなかつた。強く請われ、1894年、東京海上保険の筆頭書記として入社。大阪・神戸支店を開設し軌道に乗せる、ロンドン支店の赤字体質を見抜き廃止する、日露戦争時には情報戦で利益を上げる等々、同社の経営拡大に大きく貢献する。この頃、ロンドン支店への長期出張で英國のパブリックスクールに出会い、後の教育理念に大きな影響を与えたといわれている。1917年には、東京・大阪両支店長を兼ね、専務取締役に就任する。



27歳の若さで県立神戸商業学校校長に就任

58歳で社会奉仕専念を決断

甲南病院を設立



川崎造船所の社長に就任し、見事に再建を果たす



ブラジル経済使節団の団長を務める(右から2人目)

30代にして実業界で一目置かれる存在となった平生だが、1925年、60歳で社会奉仕に専念するべく、東京海上保険の職を辞した。最初の社会事業が甲南病院の設立だった。二人の妻を相次いで病で亡くしていた平生は「医は仁術なり」を解さない医師の多さを危惧し、「誰もが受けられる医療」を目指して財界からの寄付を募り、9年かけて開院にこぎ着ける。弱者支援や災害支援をはじめ、病診連携や完全介護制、病院食改善など今では当たり前となっているサービス提供を始めた。

灘購買組合(現・コーパこうべ)
結成にも尽力

平生はさらに、イギリスで協同組合の活動に関心を寄せていたこともあり、神戸購買組合を立ち上げたキリスト教社会活動家、賀川豊彦と共に、実業家の那須善治を賀川に紹介し、賀川の熱意に心を動かされた

那須は1921年に灘購買組合を設立した。戦後、神戸購買組合と灘購買組合は合併し、現在のコーパこうべとなり、世界屈指の規模を誇る生協に発展している。平生は賀川に多大な援助を行うと共に、灘購買組合の理事に就任する。

強く請われ、川崎造船再建の責務を負う

社会奉仕に打ち込む平生だったが、実業界ではまだまだその手腕が必要とされていた。

1931年、日本の三大造船所の二つに数えられ、神戸市民の2割が社員かその家族ともいわれた川崎造船所の和議整理委員となり、2年後社長に就き、3年近くにわたり無給の社長として同社の再建を成し遂げた。

自らが官費生だった平生は、自身が官費生だった平生は、その恩返しとして苦学生に温かい手を差し延べた。1912年、5人の学生に学資を提供、その後30年にわたり、私費で返済無用の育英事業を続けた。神戸の奨学生たちは平生宅に下宿して、家族のように寝食を共にしたという。これがやがて「拾芳会」という組織となり、支援を受けた学生たちが謝恩の集いを続けている。

ブラジル経済使節団長を務め、綿貿易推進、日伯友好関係を深める



文部大臣として入閣

1935年、当時の政府は、日本にとって重要な移民先であるブラジルへの経済使節団视察を企画し、團長として平生に白羽の矢を立てる。一行は4月6日、神戸を出港、10月28日に帰国するまで約7カ月にわたり現地に滞在した。その間、平生は「ラジル拓殖組合」を結成し、綿花栽培奨励して日本への輸出の道筋をつけた。その結果、両国間の貿易額を10倍以上に伸ばす成果につなげただけでなく、両国の共生共栄の体制をつくり、親善友好関係を深めた。

苦学生を支援「拾芳会」

自身が官費生だった平生は、その恩返しとして苦学生に温かい手を差し延べた。1912年、5人の学生に学資を提供、その後30年にわたり、私費で返済無用の育英事業を続けた。神戸の奨学生たちは平生宅に下宿して、家族のように寝食を共にしたという。これがやがて「拾芳会」という組織となり、支援を受けた学生たちが謝恩の集いを続けている。



御影山手に開院した甲南病院

学校法人甲南学園所蔵資料

阪神間モダニズム の申し子 旧制甲南高等学校



平生鉄三郎先生の教育理念をもって開学し、現在の甲南高校・大学の礎を築いた旧制甲南高等学校。福井俊郎さんは戦後の学制改革で高等科を卒業できず、1学年で修了することになった。しかし、たくさんの思い出と、母校への誇りを持っている。

元旧制甲南高等学校同窓会幹事長

福井 俊郎(ふくい としろう)さん

昭和6年 兵庫県に誕生。昭和24年 旧制甲南高等学校高等科1学年を修了。昭和33年 大阪大学大学院理学研究科博士課程を修了(理学博士)。米国パデュー大学訪問助教授を経て、昭和42年大阪大学農芸科学部所員教授、平成元年より4年間 所長、平成7年 大阪大学名譽教授。専門は生化学、酵素科学

子ども心にも感じた、
自由な雰囲気

ー旧制高等学校とは。



太平洋戦争では甲南高等学校の多くの生徒が命を落とした

ーそして、合格したのですね。

合格したのは良かったのですが、3.5倍の競争率で阪神間の立派な小学校の優等生ばかり、その上、みんなお洒落で大人っぽくて、田舎からひょっこりやつて来た私など、いろいろとからかわれました。でも私は腕力には自

ーなぜ、甲南を選ばれたのですか。

私の父は、現在の川西市で園芸業を営んでおり、戦前はそれなりに裕福でしたが、戦争中は世の中が園芸どころではなくなり苦労しました。しかし父は教育熱心で、兄は旧制浪速高等学校から京都大学に進み、私も大学までは行かうと考えたのですが、川西小学校が甲南高等学校という学校がある。入試の時期が早いから運だめしに受けてみてはどうか」と勧められました。

は27年間の歴史の幕を閉じました。

ーなぜ、甲南を選ばれたのですか。

私の父は、現在の川西市で園芸業を営んでおり、戦前はそれなりに裕福でしたが、戦争中は世の中が園芸どころではなくなり苦労しました。しかし父は教育熱心で、兄は旧制浪速高等学校から京都大学に進み、私も大学までは行かうと考えたのですが、川西小学校が甲南高等学校という学校がある。入試の時期が早いから運だめしに受けてみてはどうか」と勧められました。

信がありましたから、いじめられつ子にはならなかつた(笑)。

ーいわゆるカルチャーショックですね。

当時、世の中は忠君愛国一色、特に私は田舎の小学校でビリビリとした雰囲気の中で育ちました。ところが甲南に来てみると全然違う。現在の大学の場所で、正門からカーブした上り坂に大きな木が茂り、見たこともないような世界で子ども心にも自由があると感じました。阪神間の明るくて気候の良い土地

に平生先生が越して来られたのが甲南とのご縁の始まり。土地柄は大きく影響しています。甲南は阪神間モダニズムの申し子といえるでしょうね。

ー福井さんが入学されたのは?

昭和19年、終戦の前の年に尋常科に入学しました。戦後の学制改革によって6・3・3・4制になり、甲南も新制中学校高等学校が開校し、私たちの学年は新制大学へ進むために高等科1学年で修了しました。そして昭和25年、旧制甲南高等学校設置も認められました。7年制を採択して新設された四つの私立高等学校の一つが甲南高等学校です。

ー入学してからはどんな学生生活だったのですか。

德育、体育、そして知育、勉強では競争しない

甲南の教育方針は人格の修養と健康の増進を第一とし、個性を尊重して天賦の才能を启发する意味においての知育を施すこと。「德育、体育、知育」という順番です。平生先生は武士道を重んじ、正直真っ直ぐ人間になることを第一としました。しかも青白い秀才はだめ、体力をつけることを実践されましたから、全国で最も小規模な高等学校ながら運動部のレベルは高く、インター・ハイではラグビー、バスケ、陸上競技、テニスなどで優勝の常連校でした。私も戦後はラグビーを一生懸命やりました。大島純義さんをふくめて、京都大学に進んでラグビー部で活躍された先輩方がたくさん

さんおられます。

一知育、つまり勉強は3番目?

これは驚きでしょ。私も入学してすぐ、甲南では自分の成績を向上させねばいいだけで友達と競争して順位を上げることを勉強の目的にしてはいけないと諭されました。平生先生は「試験は無理やり勉強させることではなく、生徒一人一人がどの程度のレベルに達しているかを判定するために使うもの」とし、席次が公開されることはありませんでした。他の高等学校では公開されて席次順に並ばれたりしていたようです。

そんなことも大学に入つて初めて知りました。

一自己管理が必要ということですね。

自分の好きなことをやればいいが、自分で努力しなくてはいけない。ですから怠けていると進級できず、落第も多くて7年間のはずが13年間通った生徒もいたそうです。ところがそれを誰も恥ずかしいとも捉えず、「友達がたくさんできて良かった」と



2月16日に開催された甲南歌唱祭で旗を振る福井さん

(笑)みんなおおらかでしたね。

一福井さんも好きなことをやつておられたのですか。

私は飛行機が大好きで小学生のころから模型飛行機をいっぱい作って、将来は戦闘機のパイロットになりたいと思っていました。甲南でも入学してすぐに航空部に入り、プライマリーという入門者用のグライダーで飛んでいました。楽しかったですよ。ところが終戦を迎げライダーどころか、模型飛行機を作ることも許されなくなり、部屋中につくあつた模型飛行機を全部庭に

空で飛ばしていました。甲南でも入学してすぐに航空部に入り、プライマリーという入門者用のグライダーで飛んでいました。樂しかったですよ。ところが終戦を迎げライダーどころか、模型飛行機を作ることも許されなくなり、部屋中につくあつた模型飛行機を全部庭に

一福井さんは甲南高校を修了後、大阪大学に進まれたのですね。

ラグビー部の先輩が多い京都大学に行きたかったのですが、戦後は家が経済的に大変でした

一平成29年に同窓会を解散したのはなぜ?

先輩は90歳を超えた方も多く、体調を崩されたりして会員数が200人を切る状況でした。なし崩し的に消滅というのではなく、きちんと宣言して終わらせたいと考えました。同窓会として積み立ててきた資金で



甲南高等学校・中学校に寄贈された
旧制甲南高学生の銅像「甲南健児の意氣をみよ」

から、通える範囲で阪大に行くことにしました。先輩から「どこ

の高校から来た?」と聞かれて「甲南です」と答えると、「オー

そうか!」と言われて、勉学もスポーツも精神的にも優秀な甲南卒業生たちが活躍しているんだなと誇りに思いました。

伝統を引き継ぎ、良いところを伸ばしていくほしい

ー旧制甲南高校同窓会の幹事長を引き受けられたのは?

私はあまり同窓会活動には熱心ではなかったのですが、5年ほど前、体調を崩した友人から引き継ぐことになりました。頼まれたら嫌とは言えない、やるか

ー平成29年に同窓会を解散したのはなぜ?

先輩は90歳を超えた方も多く、体調を崩されたりして会員数が200人を切る状況でした。なし崩し的に消滅というのではなく、きちんと宣言して終わらせたいと考えました。同窓会として積み立ててきた資金で

一現在の甲南、今後の甲南へ、メッセージをお願いします。

大学や高校の同窓会の皆さんから「旧制あってこそ甲南」としばしば言われます。中途半端なことはできないな、出来るだけお手伝いをしようと思うようになります。すべての旧制高等学校が姿を消し、また形を変えてしましました。そんな中、甲南学園では私たちの伝統を引き継ぎ、良いところを伸ばし100周年という記念の年を迎えました。頼もしく、また嬉しく思っています。良いところをさらに伸ばし、次の時代へと向かっていってください。

持ち出し、泣く泣く燃やしました。悔しい思いでした。

一平生先生は日本が軍国主義に走ることを危惧されていたそうですが、学内にもそういう雰囲気はあったのですか。

積極的に反戦活動をすることはなかったようですが、軍隊は嫌いだ、戦争は嫌だ、戦争に向かう全体主義には反抗するという雰囲気がありました。教練の時間に配属将校から「このところ日本軍の情勢が芳しくないのはなぜか?」と質問され、ある生徒が「それは陸軍が悪いからです」と本音で答えて下さい、「我々の努力が足りない」などという答えを期待していた将校を烈火の焚きで怒らせたそうです。

それでも実際には在学中に徴兵され亡くなられた先輩方もたくさんおられます。

一福井さんは甲南高校を修了後、大阪大学に進まれたのですね。

ラグビー部の先輩が多い京都大学に行きたかったのですが、戦後は家が経済的に大変でした

平生先生の教えの実践



旧制甲南高校17回理科卒業
泉名 荣一さん

私にどうて平生先生は私の生涯を創つてくださった大恩人です。先生の教える最大のものは個性尊重だと思います。生涯その実践に努めました。一例をあげれば昭和31年和歌山県の要望により、大阪の工場より県工業試験所へ転職して間もない時のことです。食品部から依頼があり、醤油工場で蒸気不足のため残業時間が長くなっているのでボイラーを大きいものに変えたいので、選定してほしいというものでした。

訪問した処工場の中は真新

で、経費が僅かでした。2)作業時間が半分にならうので、残業はなくなった。(3)工場内の酷熱環境は改善された。(4)燃料は半分になった。この技術は忽ち醤油業界全体に広かりました。個性を磨いた結果でした。

甲南ラグビー部の思い出



旧制甲南高校23回理科卒業
大島 純義さん

旧制甲南高等学校において、平生鉄三郎先生は人格の修養とともに健康を重視されて、生徒はいすれかの運動部に所属することをすすめられた。そのためには設立当初から運動部の活動は盛んで、全国でもっともラグビーは甲南の校技のように扱われていた。

私がラグビーを始めた動機は

しいホールド引きの高温の大きなタンクがずらりと並び、輻射熱で長時間は居られない状況でした。案内の人聞くと以前は木製の桶だったのでこんな事はなかつたそうです。

ボイラーは1トンのコルニッシュボイラーで、燃料は木屑でした。蒸気の用途は常温の醤油を80度まで上昇させ、その後徐冷する「火入れ」という作業のためでした。徐冷とは言いながら工場の中が暑くてたまらない事が、高温域では今までより急冷されているわけで、担当の人に尋ねた所、「50度迄なら急冷してもよい」という回答を得たので、ボイラーはそのままにして、プレート式熱交換機とポンプを新調することとし、醤油は最初に常温でプレート式熱交換機に入り、火入れを終つた80度の醤油から熱をもらつて30度上昇して50度になつてから火入れ機に

入り、火入れ機で80度になつた後熱交換器で放熱して50度になつてタンクに入ります。火入れ機は今まで20度から80度まで60度上昇の加熱をしていたものが、30度上昇で済むことになり、その結果醤油の流速を2倍にすることが出来ました。

勧告通りに実行された結果次のような利益が得られました。1)ボイラーの新設が必要



至つて簡単。ある土曜日の午後、甲南のグラウンドでラグビーの試合を見て、こんな男らしくて面白いスポーツがあったのかと感激し、早速に入部させてもらった。素晴らしい先輩方から、手取り足取りラグビーの魅力を教えてもらつた。昭和十五年のことであります。細くて体力のなかつた私が、それから大学卒業までラグビーを続けられたのは、このときの先輩諸兄のご指導のお蔭だと感謝している。

平生校長は出陣学徒17名に自署の入った絹のハンカチを贈られた



在学中の思い出
旧制甲南高校25回文科卒業
赤浦 英男さん

甲南尋常科を急速受験する昭和18年1月、小学6年の私がM医師の診察を受けた時、同医師は母に私の甲南受験を熱心に勧められたことを覚えていた。試験当日の早朝、近所のH先輩が迎えに来られ、父と共に初めて校門をくぐる、M医師

入り、火入れ機で80度になつた後熱交換器で放熱して50度になつてタンクに入ります。火入れ機は今まで20度から80度まで60度上昇の加熱をしていたものが、30度上昇で済むことになり、その結果醤油の流速を2倍にすることが出来ました。

勧告通りに実行された結果次のようない利益が得られました。1)ボイラーの新設が必要

平生先生の教えを思う

の配慮の様。同医師の診察から始まって1ヶ月足らずでの慌しい受験先変更がその後70余年、私の人生を充たしてくれ、ベンを執る次第です。

平生校長

18年4月、入学式での校長訓話は聞き難く、更に長年の歳月が私の記憶を消し、訓話の内容を忘れたのが正直なところ。

後日、校長関連の書物先生の指導、先輩友人との交流から校長の甲南教育精神の一端に触れる昨日である。

繰上卒業学徒出陣勤労動員
入学後程なく高等科3年の繰上げ卒業式、統いてのパーティーで8年以上、中には二桁の在学年数を豪語して甲南を懐かしむ多士済々、戦時下穏やかな校風の余韻を楽しんだ。統けて高等科文科生の学徒出陣、壮行式後学校を去る先輩隊列を見送っていた後輩が突如正門へ走り続く者多数、後は何か虚しく淋しい気配が漂っていた。平生校長は出陣学徒17名に自著の入った綱のハンカチを贈り、武

運長久を祈られたとのことである。忘れ得ぬ一齣(ひとこま)。

19年秋、私達尋常科2年の出番。勤労動員、尼崎住友プロペラ工場へ、お国の為と高揚した気持ちも早朝からの旋盤作業、雑穀混じりの臭い弁飯、恐怖の空襲等ですっかり萎縮した。

平生校長の教えが

人生で生かされた事

28年、学業を終え就職する。当時企業は軍隊経験者、引揚者、転職者等多数が混在。上司に媚びる輩も散見する中、自己の業務に励み同僚を助け新入の私を熱心に指導されたT兄が私の転勤時に一言「私は甲南尋常科の入試に滑つてねハッハッ」と、校長の武士道精神の真髓を垣間見た。

「人生三分論」の教え
昭和33年甲南大学経済学部卒業 正田 日出夫さん



昭和33年甲南大学経済学部卒業
正田 日出夫さん

私の父は、大正13年、当時の東京大学卒業時、平生先生からスカウトされ、旧制甲南高等学校で実験物理の教鞭をとっています。私は直接、先生から教えを受けた立場ではありませんが、父はとてもお世話をなり、また先生の考え方と共に感する部分がたくさんあったのだと思います。昭和13年、阪神大水害が起き、建てたばかりの自宅が被害に遭って困惑していくところ、平生先生は親身になって相談にのってくれたり、現在の岡本9丁目の土地を紹介いただきました。感謝しております。

平生先生ご自身が勉学費用に苦労された経験から作られた奨学金制度「拾芳会」会員として、父は昭和25年に大阪大学に移つてからも交友関係を続けておりました。昭和50年、父の死後、私は事務局のお世話をさせていただき、他の「一世様」と親睦を図り、平生先生のご命日の11月27日には毎年そろつて、墓参りをしております。

平生先生は「人生三分論」を仰っておられました。私は在学中、文武両道を教わり、野球や

水泳で健康を維持し、勉強でも広い知識を得て第一期の「勉学」の時代を経たお陰で、卒業して神戸製鋼に入社後は、開発部門の営業マンとして第二期の「仕事」の時代を頑張ることができました。

退職後は第三期の「奉仕」の時と考え、社会貢献・社会奉仕をモットーに地域ボランティアに専念しております。小学生の見守り活動や老人会での公園清掃、自治会の清掃活動、また甲南大学の学生さんと一緒に近隣の清掃活動も続けておりま

「教育が日本を作ること」の信念を励みに



公益財団法人 横山獎学財団理事
(昭和57年甲南大学文学部卒業)
波多野 優子さん

す。また体力増進のためにグラウンドゴルフ、スポーツクラブで水泳、老人会でコーラスを楽しみ、同窓会のお世話などもさせていただきながら、毎日過ごしております。

生涯をもって平生先生の教

えを守り、健康・友愛・奉仕を

実践しながら、90歳まで頑張ろうと思っております。

守り活動や老人会での公園清掃、自治会の清掃活動、また甲南大学の学生さんと一緒に近隣の清掃活動も続けておりま

私が甲南大学に在学していました1978年～1982年、当時は日本が高度成長期のピークにさしかかったところでした。アメリカの社会学者が書いたベストセラー本「ジャパン・アズ・ナンバーワン」が出版され、皆が将来に期待し、ますます加速するであろう繁栄を疑うことなく

日本中が浮かれているような時代です。

そんな時代の中、甲南大学のキャンパスに建つ平生鉢三郎先生の寿像は静かに私たちを見守つてくださっていました。当時躍され、ビジネスの最前線で海外経験も豊富な平生先生は、まだ浮かれる時ではないと学生に知られてあげたいと思つていらしたのではないかと拝察しています。それから40年近く経ち甲南学園が創立100周年を迎えるにあたり、平生先生は卒業生に対してどのような思いでいらっしゃるのでしょうか?

人望厚く、いくつもの企業や団体の危機を救い、多忙を極めていらっしゃる中で学園設立の夢を叶えられた平生先生が「100周年に少しは浮かれても良いよ」と思つてくださると嬉しいのですがやはり「まだこれからが肝心、常に備へよ」でしようか。

私の同期は今年還暦ですが、

甲南の同窓会のおかげで「世界に通用する紳士・淑女たれ」を実現しているOB・OGに少な



からず出会うことができ、良い刺激を受けまして卒業生であることに感謝しております。

現在私は公益財団法人櫻山

奨学財團という財團で奨学金

支援とアジア関係の書物への褒

賞事業に携わっています。日々

雜務に追われ、残念ながら「世

界に通用する淑女」には全くな

れておりませんが、平生先生の

「教育が日本を作る」という信

念を励みに今後も頑張って行き

たいと思います。

100年経てますます輝きを増す平生先生を改めて深く尊敬いたします。

「誇り高し我々の絆」を未来へ



甲南学園同窓会 甲南大学同窓会
事務局長
(昭和49年甲南大学経営学部卒業)
瀧川 俊治さん

甲南大学でテニスをする夢がかなった1970年の入学式は今でも忘れられません。甲南

硬式庭球部は、旧制高校が誕

生した1923年に創部され、「テニスだけ強ければ良い」のでなく、平生鉄三郎先生のお言葉の「徳、体、知」に優れた人材の育成を目標としています。

私は大学4年間のほとんどをテニスコードで過ごしましたが、諸先生諸先輩のお蔭で「自ら考える意欲を持つて学ぶ、品格とマナーを身につける」ということが出来たと感謝しています。就職した織維メーカーでは織維業界の衰退で、難しい状況もありましたが、前向きに取り組む姿勢を忘れず終える事ができました。これもひとえに学生時代に人としての生き方を「学ぶ」ことができたお陰です。

甲南大学同窓会は会員が

現在10万人、一人でも多くの卒業生に同窓会活動に参加して頂く為に積極的な活動をしており、昨年10月に開催された「オール甲南の集い」には千名以上の同窓生、ご家族、ご友人にお集まり頂き、また各地甲南会での催しへの参加人数も年々増え絆を深めています。また2019年度は「学園創立100周年を迎えるにあたり、

この記念すべき年を同窓生皆で祝い、「誇り高し我々の絆」を再確認して、未来へ繋げていく」をスローガンにしています。時代の変化のスピードが激しく姿まじいこれからも、平生イズムをテニスコードで受け継いでいる学校、同窓会であつてほしい欲しいと願っています。

